

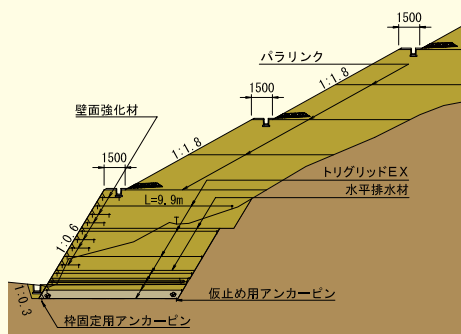
有事の要となる自動車道の補強盛土

トリグリッドEX
パラリンク

和歌山・すさみ串本道路

紀伊半島の南端・和歌山県の沿岸部は旧来、ほぼ唯一の道路交通として国道42号が通じていました。しかし台風による越波や法面崩落などで通行規制が敷かれる状況がしばしば発生している他、今後予想される南海トラフ地震では同道の半分以上の区間で浸水の恐れがあるなど、防災上の脆弱性が指摘されています。

そこで同半島のネットワーク強化のために進められているのが、現道と並行して半島沿岸を抜ける自動車道の整備で、「すさみ串本道路」もそ



の一環です。南海トラフ地震で予想される津波高さを上回る25m以上の標高に通す一方、地域の人々の一時避難空間となることも想定に入れ比較的沿岸部に近いルートがあえて設定されています。そのためトンネル延長を抑え、橋梁や盛土などによる開放区間を可能な限り多めに取るよう考慮されています。

この道路の高盛土の下端部で採用されたのが、岡三リビックが提供するジオテキスタイル「トリグリッドEX」「パラリンク」を用いた補強盛土です。高い強度と耐衝撃特性・耐久性・摩擦特性に優れ、かつ容易な施工性を有するトリグリッドEXとパラリンクは、それぞれ安定性の高い盛土を構築する商品として多くの実績を重ねています。



工事概要	施主:	国土交通省紀南河川国道事務所
	工事名:	すさみ串本道路有田東地区改良工事
	施工会社:	株式会社尾花組
	商品名:	トリグリッドEX パラリンク
		2,051m ² 9,953m ²

コロナが落ち着いたら各地の観光スポットを色々訪れ、より多くの写真を撮っていききたいですね。

この公園は、JR大阪駅から約30分の場所に位置します。敷地面積が甲子園球場三十個分という広さを持ち、バスケコート、ドッグランなど様々な施設があることが特徴です。また、園内の撮影スポットとして、異国に行った気分を味わうことができる国際庭園、目だけでなく香りも楽しむことができるバラ園、そして甲子園一・三個分の広さを持った大芝生などがあります。中でも特に私がおすすめる場所は「風の丘」です。日常では滅多に目にする機会がないオランダ式の風車を背景に、春はチューリップ、夏はネモフィラ、秋はコスモス、冬はスイセンの撮影ができます。また、同じ場所でも季節ごとによって全く異なる雰囲気の写真撮影できることがこのスポットの最大の魅力です。

お国自慢

フォトジェニックな鶴見緑地

関西支店 林田梨花

私の趣味は、一眼レフカメラで写真を撮ることです。その中でも私のお気に入りに入りフォトジェニックスポットのひとつ「花博記念公園鶴見緑地」についてお話しします。

テラグリッド工法の適用範囲が拡大しました!

「テラグリッド補強土工法」は、のり面保護や基礎地盤の補強に使用される「グランドセル」と盛土補強ジオグリッド「トリグリッドEX」の組み合わせによる新しいタイプの補強土壁工法です。

従来の補強土壁工法に比べて、凍上や塩害に対する耐久性が高く、壁面近傍の転圧管理が容易で、任意ののり面勾配に対応できる優れた工法です。

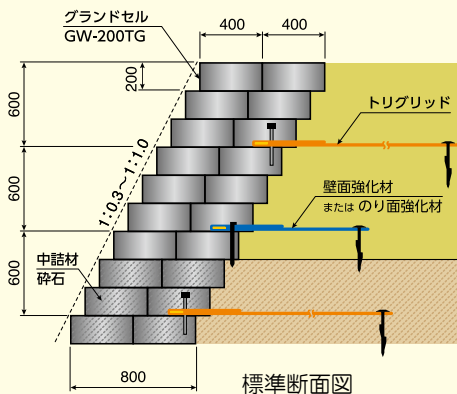
この度、「グランドセル」開発元の東京インキ（株）との共同にてこのグランドセルとトリグリッドの補強材連結部の引張強度試験を改めて実施し、連結部の部材形状や適用強度規格の見直しの可能性を探りました。その試験は土槽の中にテラグリッド

補強土壁の一部を実際の施工を模擬して構築し、トリグリッドEXを引き抜く際の荷重と変位を計測するもの。連結部が破壊するまでを確認し、実際の構造体での限界強度を検証しました。

この試験の結果により、使用するトリグリッドEXの適用強度規格の上限を従来のEX-80タイプからEX-100タイプまでへと拡大できることが判明。これによって工法の経済性の向上が見込まれるほか、従来よりも高い壁高構造での構築が可能となりました。

また、連結構造についても新しいアイデアで複数案が試行されましたが、現行の構造がやはり最も耐久性・経済性・施工性のバランスに優れていることが再確認され、部材構成は変更なしとなっています。

岡三リビックは、テラグリッド補強土工法に限らず各工法の検証と信頼性の向上、そしてより簡便な施工に向けた利便性向上などに常に取り組み、みなさまに安心して施工、供用していただけるようそのブラッシュアップに努めています。



■ 工程ごとの参考施工動画をご覧ください。

(「テラグリッド補強土工法研究会」のYouTube 動画へのリンク)



MENU ▶

- 01_ グランドセルの展開
- 02_ グランドセルの設置
- 03_ グランドセルの連結
- 04_ 中詰材投入1
- 05_ 中詰材投入2
- 06_ 中詰材の締め
- 07_ 盛土材の撒き出し
- 08_ 盛土材の締め
- 09_ トリグリッドの固定・連結用杭の設置・GB アンカーキャップの設置
- 10_ トリグリッド上のグランドセルの設置
- 11_ 番外編 地下排水溝の施工
- 12_ 番外編 横断管施工時の壁面処理
- 13_ 番外編 分離材の敷設
- 14_ 番外編 壁面強化材

徒然月記

收容所が産んだ年輪

記：編集 T

バウムクーヘンといえど誰もが思い浮かべる年輪型のお菓子。ドイツ発祥で、「木のケーキ」という意味だ。ところがドイツでバウムクーヘンは意外に一般的ではないという。製法が厳格に規定される伝統菓子のような位置づけで作る工房がそう多くなく、ドイツ大使館職員ですら日本で初めて食す人がいるそうだ。ただし日本のバウムクーヘンは本場物よりしっとり系で、これは日本人の好みに合わせたためらしい。

日本最初のバウムクーヘンを作ったのは、ドイツ領中国・青島^{チンタウ}の喫茶店で働いていたカール・ユーハイム。不幸にも第一次大戦で日独が敵対し彼は捕虜として日本本土の收容所に移送されることになる。しかしドイツ人から様々な分野の知識と技術を吸収したかった日本政府は收容者による工芸品展示会などをわざわざ企画。ユーハイムも広島での展示会で焼き上げたバウムクーヘンが評判を呼んで、後に神戸市で菓子店を開く自信を付けた。

日本でこれほどまでにバウムクーヘンが好まれてきているのはやはりその年輪を思わせる形ゆえだろうか。年を重ねていくイメージから結婚式などの慶事の引出物となることが多い。ユーハイムもまさか本国よりポピュラーな菓子になるとは思ってもしなかつたらう。



岡三リビック株式会社

東京都港区港南1-8-27 日新ビル ☎03-5782-9080



札幌・盛岡・仙台・高崎・東京・新潟・金沢・長野
静岡・名古屋・大阪・米子・広島・高松・松山・福岡
鹿児島・沖縄リビック・岡三リビックベトナム